

病児・病後児保育室で対応可能な症例

No.	病名	病児	病後児
1	感冒・感冒様症候群	○	○
2	咽頭炎・扁桃腺炎（溶連菌感染症を含む）	○	○
3	気管支炎（RSウイルス感染症を含む）・肺炎（マイコプラズマ感染症を含む）	○	○
4	インフルエンザ	第4病日以降	○
5	咽頭結膜熱（プール熱）	解熱後	○
6	ヘルパンギーナ	○	○
7	手足口病	○	○
8	突発性発疹症	○	○
9	水痘	第4病日以降	○
10	風疹	解熱後	○
11	流行性耳下腺炎	解熱後翌日	○
12	百日咳	5日間の抗菌剤治療終了後	○
13	気管支喘息	○	○
14	中耳炎・外耳炎	○	○
15	結膜炎（流行性角結膜炎を除く）	○	○
16	感染性胃腸炎・食中毒	○	○
17	自家中毒症	○	○
18	骨折・熱傷	○	○
19	熱中症・脱水症	水分摂取できれば可	○
20	熱性けいれん	×	第3病日以降
21	その他	医師が病児病後児保育を利用することが可能と判断したものは可	
※	対応できない症例	<ul style="list-style-type: none"> ・ 流行性角結膜炎 ・ 麻疹 ・ 腸管出血性大腸菌感染症（O-157など） ・ 新型コロナウイルス 	

※ 39.0℃以上の高熱、ぐったりとしている、水分摂取ができない、激しい咳や喘鳴などの症状がある場合はお預かりできません。

※ 表中に「解熱後」と表記されている疾患については、37.5℃未満へ解熱しているお子様のみ対応となります。